

すわこ文化村が発足1周年で

新しい
仲間

むらびと
「村民」を募集

感動あふれる良質な文化企画の実現を目指すNPOすわこ文化村（毛利正道代表理事）は、発足一周年企画として村民（むらびと）



村民を募集する毛利代表（前列左）ら4人の理事

の募集を始めた。一千万の出資金を募って運営に加わる会員とは別に、仲間づくりを広げる基点となるもので、同村の企画にも優先参加できる。地方では鑑賞機会の少ない映画や演劇など昨年四月の発足から七

回の企画を開催する中で、参加者同士の温かい交流が芽生えたことが村民募集のきっかけ。毛利代表自身、中越地震から復興する山古志村の姿を描いたド

キュメンタリー映画の上映を通じ、「諏訪にいがた県人会」発足につながった経路を踏まえ、人と人の交流の大切さを改めて痛感。「いろいろな機会に、いろいろなつながりを強められれば」と発足一周年にあさわしい企画として募集を発案した。

会費など無料で 企画に優先参加

村民は会費、入会金ともに無料。ファクシミリか電子メールが利用できることが条件

で、村民だけが入れるメイリングリストに登録して交流でき、文化村が主催する映画会などの企画の情報が優先的に得られるほか、予約が簡単に行けるなどのメリットがある。親ぼく会や宿泊交流会などの企画にも参加できる。

希望者は「すわこ文化村民希望」と記載した上で、住所、氏名、生年月日、電話番号、

ファクシミリか電子メールアドレスを明記し、FAX23・6642、電子メール 001111@po311cv.ne.jpへ送ってほしいと。問い合わせは、すわこ文化村（電話080・1040・7463）まで。ファクシミリ、電子メールともに利用できない人は、どちらかを利用できる人と一緒に申し込んでほしいと。

すわこ文化村

出会いやつながら支援

「村民」を募集

映画上映会などを通じて人間のつながりの再構築に取り組み「すわこ文化村」(毛利正道代表理事)が、新たに「村民」を募集している。村民同士の出会いやグループ化を促す目的。活動に携わる会員とは異なるため、会費、入会金とも不要。

文化村は、村民だけが登録できるメーリングリストを作成し、同じ趣味や出身地などによるつながりを支援する計画。村民対象の親ほく会や宿泊交流会も行う。各種企画の情報発信し、予約の簡素化や定員少数の企画に参加しやすくするという。

でに映画上映会や風刺劇の公演など7回の自主企画を岡谷市内で開催し、計437人が参加した。

毛利代表理事(60)は「本気で人のことを心配することが人間社会には必要だが、現代はそれが寂しい社会。文化村の企画から『諏訪にいがた県人会』が充足した。意識的に人のつながりを築き、太くする努力をしなければならぬ」と警鐘を鳴らす。

申し込みはファクス(23
080・1040・7463)へ。
(唐沢宏)



村民を募集するすわこ文化村の理事たち
「感動溢れる文化を広め、温かいつながりを築く」をテーマに発足。これまで

文化村は

昨年4月、文化村は「感動溢れる文化を広め、温かいつながりを築く」をテーマに発足。これまで



新企画の参加者を募る団体の理事ら＝岡谷市で

「すわこ文化村 村民」を募る
諏訪地方を中心に活動するNPO「すわこ文化村」が、新企画

「すわこ文化村村民」の参加者を募集している。参加者同士が共通の趣味などでグループをつくり、人間同士のつながりの温かさを実

感してもらおう狙い。無料。

発足一周年を機にした企画。「村民」としてメーリングリストに登録し、ほかの参加者と交流する。八月には原村のペンションで泊まり込みの交流合宿を企画しているほか親睦会も今後、予定しているという。

申し込み、問い合わせは同団体 電080(1040)7463 へ。

(白名正和)